

森林整備センター 関東整備局・森林管理署 職員研修会を合同で開催

7月7日と8日の2日間、森林整備センター関東整備局と関東森林管理局日光、塩那、茨城森林管理署が「林業の低コスト化・育種・木材の加工及び流通」について、合同で職員研修会が開催されました。

7月8日(金)に森林技術・支援センターと林木育種センターで平成27年度から共同で試験を行っている、日立市十王町高原の小松沢国有林1186ほ林小班でコンテナで育苗したエリートツリー植栽試験地と東茨城郡城里町塩子の岩谷国有林269い5林小班の育種センターが設定した関東67号次代検定林(エリートツリー)の見学を行いました。

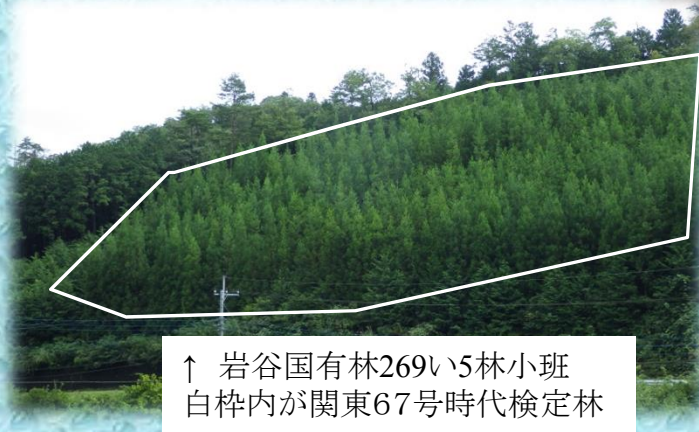
今後の低コスト化に向けて、エリートツリーの開発は重要課題であり、研修に参加された職員の皆さんは当センター職員の説明に聞き入っていました。



小松沢国有林1186ほ林小班



岩谷国有林269い5林小班



↑ 岩谷国有林269い5林小班
白枠内が関東67号時代検定林

**関東67号次代検定林
(育種集団林)**

所在地	茨城森林管理署 岩谷国有林269林班い5小班
面積	0.32ha
植栽本数	945本
検定木本数	720本
検定樹種	スギ
精英樹	・人工交配 48家系 ・対照木 8家系
改良目標	成長X材質
設定年月	平成17年4月

関東森林管理局・林木育種センター